



第92号 2021.2.5
諏訪圏域障がい者総合
支援センター オアシス
tel 54-7713/fax 54-7723

■1月の自立支援協議会報告

*人材育成委員会 27日(水)

- ・相談支援体制の第3層の明確化について
- ・人材育成のシステムについて
- ・専門性(資格)の維持の担保について
- ・主任相談支援専門員の圏域での役割の協議の場について

自閉症をはじめとする障がい者アート展

♣ ぶるーぶるー 2021 ~浜昌平絵画展~

浜 昌平 (はま しょうへい)

2017年長野県主催の障がい者作品公募展「ザワメキアート展」に入選。2018年には、スターボックス(MIDORI松本店)に作品が常設展示されている。現在もガラスの里で開催される「諏訪を描く」展に毎年出品している。

【場所】

長野県信用組合諏訪支店ロビー

【日時】

2月5日(金)~2月18日(木)

9:00~15:00 ※土日祝は除く

【主催】

世界自閉症啓発デー ライトアップ委員会

L I G H T u p c o m m i t t e e

M A I L light.up.committee@gmail.com



第12回療育支援フォーラム・令和2年度発達障がい診療諏訪地域連絡会

♣ 発達特性とネット・ゲーム依存症を考える(We b講演会) 動画配信

誰もが簡単にネット・ゲームを楽しめる昨今において、発達に支援が必要なお子さんが、ネット・ゲームとの関係を上手に保つためにはどのように支援したらよいか、ネット・ゲーム依存症について先駆的な治療を行っている久里浜医療センターの樋口進先生のお話をお聞きしながら考えます。

※1月24日に信濃医療福祉センターで行われた、We b講演会の収録公開になります。

【日時】

2月27日(土) 9:00~17:00

Y o u T u b eを使った動画配信です。2時間ほどの内容ですので、ご都合の良い時間にご視聴いただけます。公開時間後は視聴途中でも配信が終了になりますので、早めにご覧ください。

【講演会】

「発達特性とネット・ゲーム依存症を考える」

【講師】

樋口 進先生（久里浜医療センター院長）

【申込み】

①申込者氏名②所属、職名③電話番号④メールアドレスを記載の上、申込み先までメールにてお申込みください。視聴用アドレスをメールにてご案内します。[ご案内が届かない場合は、お電話にてご確認ください]

【締切】

2月25日（木）

【問合せ】

信濃医療福祉センター医療福祉社会事業課（担当：長谷川）

住所 諏訪郡下諏訪町杜花田 6 5 2 5 - 1

MA I L noboru@shinano-iryo.or.jp

TEL・FAX 0266（27）3227



子どもの心の診療ネットワーク事業 長野県立こころの医療センター駒ヶ根公開講座（WEB開催）

♣ 「キレル」はこころのSOS ～児童虐待防止と発達支援のために～

—怒りを爆発させ、「ふざけんな！」と暴言を吐く子どもたち—

キレル子どものこころの叫びを真に受け止め、支えるにはどうしたらよいのか。発達障害の二次障がい理解と興奮状態の子どもへの介入方法や、支援者の燃えつきを防ぐためのケアまで、児童精神科医の豊富な診療経験・研究に基づいた、すぐに役立つ実践的な講座です。

【講師】

長野県立こころの医療センター駒ヶ根 副院長・子どものこころ診療センター長 原田 謙

【日時】

2月27日（土）13：30～15：30 接続開始13：00～

【実施方法】

Z o o mによるオンライン（W e b）講座

【対象】

子どもの心の支援等に関わる医療、教育、福祉関係者（長野県内）

【定員】

100名（Z o o m接続）

【参加費】

無料

【申込み】

H P <https://forms.gle/jRKyijJEcCK3QSw37>

2月12日（金）までに申込みください。



【問合せ】

長野県立こころの医療センター駒ヶ根

TEL 0265-83-3181

MAIL komagane-60th-anv@pref-nagano-hosp.jp

担当：精神科研修・研究センター 高橋（内線 104）

♣ ガレージとーく うつ病で、語る、つながるミーティング

『ガレージとーく』ってどんなところ？

「ピアサポート」とは、「仲間」という意味のピアと「支える」を意味するサポートを合わせた言葉で、同じ病気の人などが課題や悩みを共有し、支え合う取り組みです。『ガレージとーく』は、うつ病の当事者を対象としたピアサポートの場です。ミーティングでは当事者同士が集まって、悩んでいること、苦しんでいることなどを話します。周りの人にはなかなか理解してもらえない「生きづらさ」や「心のモヤモヤ」を共有し支え合うことで、繋がりや癒しを感じてみませんか？

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、Z o o mでの開催へ変更する場合があります。

【日時】

2月21日（日） 13:30～16:30

【会場】

塩尻市市民交流センターえんぱーく 会議室304

【参加対象】

診断や疾患に関わらず、うつ症状のある方

【定員】

8名（申込先着順で定員になり次第締め切ります）

【参加費】

500円（会場費・運営費として）

【申込み】

電話・メール・申込みフォームにて

<https://kokucheese.com/event/index/607010/>

任意団体NPO うつリカバリーエンジン

TEL 090-4823-7494（代表：長谷川）

MAIL garagetalk@u2recovery.org

HP <https://u2recovery.org>

日中は電話に出られないことが多いので、留守番電話もしくはメールにてご連絡ください



目からウロコの自閉スペクトラム症トータルセミナー ～自閉症発達障害の人たちの居心地の良い暮らしのために～

♣ 「今日からできる支援のコツ」

暮らしと育ちの具体的な手立ての学びの場 使いこなそう視覚的支援

【日時】

3月7日（日） 13：30～16：00 受付 13：00～

【講師】

- ① 奥平綾子氏 株式会社おめめどう代表
13：30～15：30（ZOOM）
- ② エンジェル暢子氏 おめめどう支援実践者
15：30～16：00（座談会）

【会場】

諏訪市総合福祉センター 3階交流ひろば（湯小路いきいき元気館）

【対象】

視覚的支援に興味のある方

【参加費】

500円

【募集】

先着20名

【申込み】

2月25日までに下記のメール宛に、氏名、ご住所、
電話番号、メールアドレス、
参加方法（①会場参加 ②ZOOM参加）を記入の上、申し込みください。

MA I L miyomiyo@po20.lcv.ne.jp

【問合せ】

中村 090-4161-3993



♣ 令和2年度 サンアップル水泳記録会

日頃の練習成果を示す機会として記録会を開催し、県内選手の競技意識の維持・向上を図ることを目的とします。

【日時】

3月14日（日） 8：30～15：30

午前の部 9：30～11：30（受付時間 8：30～ 9：20）

午後の部 13：30～15：30（受付時間 12：15～12：50）

【場所】

長野県障がい者福祉センター 「サンアップル」プール

【参加資格】

- ① 肢体不自由、視覚、聴覚、知的、精神障がいのある小学生以上の方。（障害者手帳保有者）
- ② 長野県内在住の方

- ③ 個人種目は、1人2種目以内とする。
- ④ リレーは、1団体につきフリーリレー3チーム、メドレーリレー3チームまで出場できることとする。
選手は、個人種目参加の部と同じ時間帯のリレーに参加すること。

【募集期間】

1月16日（土）～2月28日（日）

【参加費】

無料

【申込み・問合せ】

〒381-0008 長野市下駒沢586

長野県障がい者福祉センター「サンアップル」（担当：スポーツ課 清水・原田）

TEL 026-295-3442（スポーツ課）

FAX 026-295-3511

MAIL sunsport@mx2.avis.ne.jp

HP <http://www.avis.ne.jp/~sunapple/>



■ リレーずいそう 第91回

【オアシス 茅野 進】

オアシス事務所に男性が一人だけになって何年か経ちます。皆さんはあまり違和感はないでしょうか。オアシスの歴史を見ても、また長野県を見渡してみても、ちょっと特異です。この状況をどれだけ「普通じゃない」と感じるか、感じ方の問題はありますが…。

私は「発達障がいサポート・マネージャー」として諏訪圏域担当ということでオアシスにお世話になっています。通称「サポマネ」です。長野県のサポマネ配置事業は現在8年目ですが、諏訪圏域は1年遅れての配置なので7年目です。実はこの年、県下10圏域中8圏域のサポマネが配置されましたが、教育関係者は私以外には誰も居ませんでした。福祉や就労の専門家の中に、教育関係者は違和感があったのではないかと思います。まあ、現在教育関係者は4人に増えましたが…。

支援者支援（個別に支援してくださっている皆さんを後方支援する）が業務となっています。オアシスに配置されている関係で、オアシス相談員の後方支援が多いですが、もちろんこの通信をご覧になっている皆さんを後方支援する役目です。今後ともご活用ください。さて、今回は個人的なことを少しお話ししたいと思います。（前置きが長いなあ・・・）

我が家は岡谷（小井川）にあります。高齢者3名の家族です。そのうち母親は93歳です。93歳という年の割に頭がしっかりしていて、60代の二人が結構お世話になっています。畑作の暦関係は言うに

長野県内の10圏域 サポマネ



及ばず、アルバム写真に写っている場所の名前、日常会話に出てくる人物の名前など、偶然というにはあまりにも精度が高く、感服しています。

しかしながら、身体の方は年相応です。健康には意識が高く、散歩したり調子の良いときには畑の草むしりをしたりしていました。しかしながら90歳を超えて骨折・入院してしまいました。この時、我が事として福祉タクシーとか寝台タクシーとかの利用の大変さを知りました。川岸にある「ともゆき」さんが神様に思えました（その節は大変お世話になりました）。

病室の方々は、全員高齢者の方々でした。しかし、住み慣れた自宅へ退院していく方は、我が家以外には無いとお聞きし、これまた衝撃的でした。介護できないから、という理由で施設へ入所。看護師さんからの退院後のアセスメントが、こんなに多方面にわたり時間をかけて行われていることも初めて知りました。我が家の場合は、すでに介護用ベッドを借用していること、手すりを付け介護用椅子を風呂場に用意したことなどを伝えながら、本人が希望するように一日も早く退院して自宅へ戻れるようにしてほしいと希望を伝えると、看護婦さんが「茅野さんなら安心して退院させられます」とおっしゃってくださいました。

本来ならそれを境に体力・筋力は落ち、ロコモは要介護であつたろうと思います。しかし、家に帰りたいという母の意思は強く、入院中から自主リハビリに励み、廊下で歩行訓練をしている姿を報告する看護婦さんが「暴走族」と言う程。退院後も、元通りになりたい一心でリハビリを行い、半年後からは成果も現れ始め、今では両手でお盆を持って物を運べるまでになりました。

おそらく、こうした前向きさを支えているのは、孫やひ孫に会える事だと分かっていました。これは母親に限ったことでは無いと思います。その思いを、無残にも遠ざけたのが一年前から始まったコロナ禍です。

「武ばあちゃん（母親の愛称）に移しちゃいけない！」これが孫夫婦たちの合言葉になりました。お盆も、そして多少期待のあった暮れ・正月も、都会に住む家族の帰省は断念してもらいました。その代わりに時々Web 帰省（LINE や ZOOM）を企画してくれます。やはり孫・ひ孫の存在は格別で、声を聴いたり動く姿を見たりすると元気が出ています。

閉塞感を打破すべく私も何かできることは無いかと考えて、録画してある番組の中から「2時間でまわる伊勢神宮」という番組（ナビゲーターは杏さんと松坂桃李くん）をチョイスしました。これは、3人で伊勢神宮（内宮だけでしたが）巡りをしたからです。時間を合わせて3人揃っての伊勢神宮巡りを提案しました。ドライブに連れ出すと思った妻は、「そんなのムリムリ！」と一蹴。もちろん、実際に出かけるのは無理。結局、妻が「高齢者向けいきいきデイ」を行っている裏番で、母親と二人でビデオ視聴をしました。一緒に行ったときの思い出を語ることができ、VTR だとお茶タイムは止めたり見逃した所はプレイバックしたりできるメリットもあります。『三人揃ってもう一度伊勢巡り』は叶いませんですが、母親はメモを取りつつ視聴し、結構な満足を得たようです。

年明けから、2回目の緊急事態宣言が発出される状況となってしまいました。新規感染者の増加が急激拡大しています。通常の限界を遙かに超えて支えてくださっている医療従事者、介護従事者の皆さんからすれば、言葉にならない、持って行き所の無い憤怒の感情さえあると思います。

医療や福祉の現場が崩壊するのを少しでも遅らせるために、みんなで、できることをしっかりやり続けていきましょう。



■2月の日程（自立支援協議会、オアシス）

2月 2日（火）	15:00	医療的ケア部会
2月 8日（月）	13:30	発達障がいデイケア
2月10日（水）	9:30	療育支援部会
2月17日（水）	13:30	地域生活支援部会
2月19日（金）	13:30	相談支援部会
2月22日（月）	13:30	発達障がいデイケア
2月24日（水）	13:30	就労支援部会

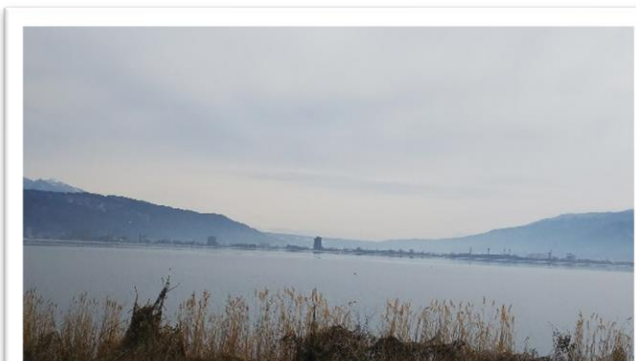


■オアシスたいむ 84 「諏訪湖の霧」



午前中、諏訪湖を見ると霧がかかっていました。幻想的です。

御神渡りは今シーズンも現れず、3年連続の「明けの海」宣言となってしまいましたね。その幻想的でどことなく力強い姿も来シーズンにお預けですね。



数時間後にはいつもの諏訪湖に戻っていました。時間帯や季節でいろいろな姿を見せてくれます。